

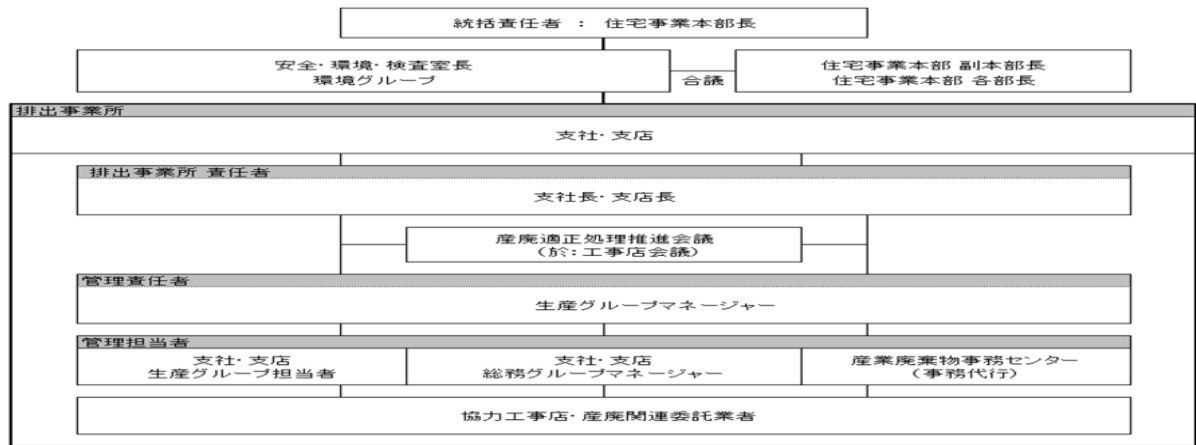
様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和6年 6月17日	
千葉県知事	
熊谷 俊人 殿	
提出者 〒100-8270	
住 所 東京都千代田区大手町1-3-2 経団連会館	
氏 名 住友林業株式会社 住宅事業本部 安全・環境・検査室長	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 03-3214-3371	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その 処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	住友林業(株) 住宅事業本部 安全・環境・検査室 首都圏資源化センター
事業場の所在地	埼玉県加須市鴻荃3201-5
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	D06-総合工事業
② 事業の規模	売上高(連結) 1,733,169百万円(2023/12期)
③ 従業員数	住友林業(株) 5,840名(2024/4) (首都圏資源化センター 在籍3名)
④ 産業廃棄物の 一連の処理の工程	【新築】 別紙1の通り 【解体】 現場 ⇒ 収集運搬 ⇒ 中間処理場(品目により破砕等の処理) (委託) (委託) 再生 ⇒ 建設資材等に再資源化 ⇒ 再生出来ない物 ⇒ 最終処分場(埋立処理)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	排出量	740.3 t	969.7 t
	(これまでに実施した取組) ・基礎鉄筋のユニット化 ・未利用品の廃棄撲滅 ・梱包材、養生材の簡素化 ・プレカット導入 ・パレット、リン木の再利用 ・配線、配管工事の工場加工化 ・養生部材の再利用		
	屋根スレート 外壁下地材 サイディング 内装材、外装材 石膏ボード（セミプレカット）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	排出量	703.2 t	921.2 t
	(今後実施する予定の取組) ・資材規格寸法の見直し ・資材梱包材のリユース化 ・施工方法の見直し		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 新築工事現場に産業廃棄物一覧ポスターを掲示し、11種類の分別を指導している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 当社分別施設に集積した廃棄物の分別状況を、現場へフィードバックし、分別指導を行う。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
	—		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
	—		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
—			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
—			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0t	0t
	(これまでに実施した取組)		
	—		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0t	0t
	(今後実施する予定の取組)		
	—		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	全処理委託量	740.3t	969.7t
	優良認定処理業者への処理委託量	740.3t	969.7t
	再生利用業者への処理委託量	44.5t	969.7t
	認定熱回収業者への処理委託量	695.8t	0t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t
	(これまでに実施した取組)		
	原則、再生業者のみに委託する。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	全処理委託量	703.2 t	921.2 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	703.2 t	921.2 t
	再生利用業者への 処理委託量	42.2 t	921.2 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	661 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 原則、再生業者のみに委託する。		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず 及び陶磁器くず	グラスウール	石膏ボード				
		排 出 量	245.3 t	264 t	98.8 t	241.8 t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず 及び陶磁器くず	グラスウール	石膏ボード				
排 出 量		233.1 t	250.8 t	93.9 t	229.7 t	t	t	t	t	
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず 及び陶磁器くず	グラスウール	石膏ボード				
		自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず 及び陶磁器くず	グラスウール	石膏ボード				
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量		0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず 及び陶磁器くず	グラスウール	石膏ボード				
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
産業廃棄物の種類		金属くず	ガラスくず、コンクリートくず 及び陶磁器くず	グラスウール	石膏ボード					
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量		0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量		0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項									
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	グラスウール	石膏ボード				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	グラスウール	石膏ボード				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	グラスウール	石膏ボード				
	全処理委託量	245.3 t	264 t	98.8 t	241.8 t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	245.3 t	264 t	98.8 t	0 t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	245.3 t	0 t	1 t	241.8 t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
	【目標】								
②計画	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	グラスウール	石膏ボード				
	全処理委託量	233.1 t	250.8 t	93.9 t	229.7 t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	233.1 t	250.8 t	93.9 t	0 t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	233.1 t	0 t	0.9 t	229.7 t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t

住友林業(株)首都圏資源化センター 産業廃棄物処理フロー図

